

takuma-gpCUP 車両規則書

総合仕様

桶川スポーツランドが主催する「関東ロードミニ選手権 2026」の車両規定の総合規定に準ずる(以下を除く)

- 1, ミラー、キャリアは取り外す。スタンドは取り外しが望ましい。ライト、ウインカー、テールランプはテーピングでも可能

車両規定 M50

- 1, 桶川スポーツランドが主催する「関東ロードミニ選手権 2025」の M50 クラスに準ずる(以下を除く)
- 2, GROM125は桶川スポーツランドが主催する「関東ロードミニ選手権 2025」の「オケガワグロムカップ」に準ずる。
- 3, 純正カウルがついている車両に関して、アッパーカウル、アンダーカウルの取り外しが可能。ただし、カウルを外す場合は、フロントフェンダーを装着しなければならない。
- 4, NSR50,NSR-mini のアップタイプマフラー装着車両は、サイレンサーステーの装着を義務付ける。
- 5, 最低重量(ライダー+車体)なし
 - 1) ただし、ライダーの体重が40kg以下の場合により以下の物を取り付けること
 - 2) 2stは純正エアクリーナー(蓋付き)+純正スポンジ
 - 3) NSF100 は13mm 以下のサイレンサーバップル
 - 4) Grom125 は13mm 以下のサイレンサーバップルまたは同径の出口サイレンサーを使用すること
 - 5) 上記規定はシーズン途中で性能調整の為、変更されることがある。

6. スーパーカブ 110 の車両規定

- 1) ・出荷時の外見から著しい変更は不可 レッグシールドの取り外しやカウルの装着などは不可。フェンダーの切削加工 OK。チェーンカバーを外す場合はスプロケガード必須。ドレンボルトのワイヤリング必須。
- 2) ・エンジンは 125cc まで。カムの変更やヘッドの変更、ピストン変更、シリンダ変更、クランク変更は 120cc までならば OK。ボルトオンであれば他車種エンジン流用可能。クランクケースの加工は不可。
- 3) ・アンダーカウル(オイル受け)は必須
- 4) ・ステップの変更、加工は OK、ペダルの加工変更 OK
- 5) ・マフラーは変更可能、音量は98dB 以下とする。
- 6) ・キャブ、スロットルボディ、インジェクターの変更、加工は OK
- 7) ・エアクリーナーボックスの変更、加工は OK
- 8) ・CDI の変更 OK、フルコンは不可だが、サブコンは OK
- 9) ・フロントフォーク、ステムの変更、加工 OK。純正他車種流用も OK だが無加工であること。
- 10) ・リアサスの変更、加工 OK
- 11) ・スイングアームの純正流用のみ OK
- 12) ・フレームの改造・加工は不可
- 13) ・ホイールの純正流用可能

あくまで NSF100 との戦力均衡を狙ってのもののため、戦力差が見られる場合は随時変更していくものとする。禁止パーツがシーズン途中でも追加される場合がある。